

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	土肥伊都子	所属	神戸松蔭女子学院大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会 ジェンダー研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 会員 23名 (うち認定心理士 2名) 非会員 6名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>日本心理学会第83回大会の第1日目の2019年9月11日、13:20~15:20に、公募シンポジウム「大学全入時代のキャリア教育 –ジェンダーの視点からの検討–」を開き、公開研究集会とした。</p> <p>○公開研究集会の目的 大学全入時代となり、一言で大学生といえども生育環境や家庭の社会経済的地位、高校時代の学習活動などはますます幅広く多様になりつつある。そのため、大学生を一括りに論じることは難しくなり、その学生が置かれた文脈を考慮したジェンダー教育が必要である。そこで公開研究集会では、個々の学生がキャリアデザインするにあたって、どのようなジェンダー教育が効果的であるかについて議論することを目的とした。</p> <p>○公開研究集会の実施内容・成果・将来計画 まず、企画代表者の土肥伊都子から、キャリア教育で教えるべきことと、そこでのジェンダーの視点の重要性が指摘された。そして、このシンポジウムに当たり、研究会員から、日ごろの教育や相談業務における工夫や課題についての意見を集めた事前調査の結果について説明があった。次に、企画者の永久ひさ子氏から、その調査の結果を踏まえて問題にしたい3つのテーマが披露された。すなわち、①家族の多様化、②女子学生の就職の困難さ、③女子学生が理想とするライフコースの多様化である。</p> <p>話題提供者の大野祥子氏からは、主に「キャリア研究」という授業の中で考える重要なポイントとして、①家族の多様化に関して、家族構成や夫婦の働き方や時代により、様々なライフコースの選択肢があること、②現実に生きる人を例に提示すること、③将来を真剣に考えている学生の存在を知らしめ、ピアの力を援用することの有効性などが紹介された。女子学生が大多数を占め、女性的とされる職業である保育者養成課程で教える若尾良徳氏からは、保育士希望の学生のキャリア意識としては、結婚・出産による退職を希望している者が多いことが紹介された。そして、それは保育現場を取りまく現状が、職業継続を困難にするものであることによると指摘された。指定討論者の安達智子氏からは、キャリア教育では、社会のリアルを伝え、社会への適応と抵抗の両方ができるようになることが重要であるとのコメントがあった。金井篤子氏からは、インターンシップの指導などを通じて、一般論を教えるよりも個別に学生に対応し、対話を通して教育することが有効であるという実感を得たことが披露された。フロアからもジェンダーの視点に基づいたキャリア教育の日々の実践についての発言がなされ、各大学教員が、今後のキャリア教育で認識しておくべき点が確認でき、実践的に生かせることが期待できるシンポジウムとなった。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
日本心理学会ジェンダー研究会				
研究集会開催日： 2019年 9 月 11 日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	永久ひさ子	文京学院大学	○	
2	土肥伊都子	神戸松蔭女子学院大学	○	
3	大野祥子	白百合女子大学	○	
4	若尾良徳	日本体育大学	○	
5	安達智子	大阪教育大学	○	
6	金井篤子	名古屋大学	○	
7	上野淳子	四天王寺大学	○	
8	宇井美代子	玉川大学	○	
9	松並知子	武庫川女子大学	○	
10	渋谷明子	創価大学	○	
11	牛田好美	京都ノートルダム女子大学	○	
12	石井宏佳	関西学院大学		
13	児玉紀香	関西学院大学		
14	加藤みわ子	広島都市学園大学	○	
15	佐々木香	早稲田大学大学院		
16	林栄里香	京都橘大学		
17	青木馨	京都大学文学部		
18	足立和美	NPO法人ウィズ	○	○
19	相良順子	聖徳大学		
20	東福寺一郎	三重短期大学	○	
21	伊藤裕子	文京学院大学	○	
22	小林知博	神戸女学院大学	○	
23	小久保みどり	立命館大学	○	○
24	待田昌二	神戸松蔭女子学院大学	○	
25	平井美佳	横浜市立大学	○	
26	滑田明暢	静岡大学	○	
27	石井国雄	清泉女学院大学	○	
28	櫻坂英子	駿河台大学	○	
29	寺島瞳	和洋女子大学	○	

(様式5)

2019年 9 月11 日

日本心理学会研究会 2019 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 ジェンダー研究会

研究会番号 研 19006

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年9月4日	印刷費（シンポジウム配布資料）	¥31,212

支出合計 ¥31,212